

人と人との絆 次世代につなぐ協同の輪

# Ever Green

7

2019  
Vol.305

|特集| 仲間でミカタ!! 営農相談員





## 真っ直ぐ農業に向き合って

野菜・シイタケ生産者 竹内康彦さん

今月の  
巻頭

### 第7回フォトコンテスト入選作品

「夏の長芋畑」 宮澤 一夫



表 賞 級賞

撮影場所 松竹町

評 語 長芋畑がとても神秘的で不思議に感じられた作品です。単純な画面構成で難しい光景ですが、新鮮さを感じます。作者の表情がもう少し出て、右上に余白があるとコントラストが出るでしょう。

目次

Green Spot 人	2
Green Topics JA	
農産物 本誌出荷へ	4
Special Issue 特集	
宮農相談員	8
Member's Power	12
健康長寿学	14
農力アップ塾	16
Green Information	18



収穫作業をすすめる



収穫時期を目の前にしたトマト

## 真っ直ぐ就農へ

篠ノ井有旅で野菜・シイタケを栽培する竹内康彦さんは40歳。就農2年目を迎え、春夏は施設野菜等を栽培してA・コープ直売所や共選所へ出荷、秋から冬にかけては「シイタケ」を直売所に出荷しています。

30代半ばまで製造業の会社に勤めますが、家族を養うなかでなかなか収入が上がらず、収入の足しになるよう、父の農作業を手伝い始めます。野菜などを育てるなかで、作物を育てる喜びや、ストレスなく、自分の采配で仕事が出来することに魅力を感じ、「農業が面白くなってきた」と「就農」へ心が傾きます。就農相談等を通じ、父の地盤を引き継ぎ、加えて新しい品目を導入することで「今(製造業)と同じか、それ以上に稼ぐことができる」と見通しを立てた竹内さん。「決めたら「真っ直ぐ(就農)」しか見えなくて…もし収入が厳しければ、夜にアルバイトをして、苦勞をしてでも農業をやりたいと思ったんです」と、強い決意で家族を説得し、2017年9月に就農しました。

## 思うようにはいかない中で

就農後は、父の「シイタケ」栽培を引き継ぎ、秋から冬の収入源にすることに加え、年間を通じて収入を得るために、就農当時から面倒をみしてくれる地元の恩師の指導や父の協力のもと、自身の退職金でビニールハウスを建て、「トマト」や「ピーマン」栽培を導入し、春夏の出荷・収入メインに据えています。就農1年目は、基本的な知識や技術不足に加え、天候の影響による収穫遅れや収量減となり、「思っていた通りにはいかないですね…点数だと30~40点くらい?」と苦笑い。ただ、そのなかでも収支面は、月ごとの差はあるものの、当初の計画に近づけていると、ホッとした表情を見せています。今期作は、年間供給・収入につなげようと、トマトやピーマンに加えて「アスパラ」や「キュウリ」栽培も導入し、計画は順調…とはいかず、収穫を前にトマトの色付きが遅れて、思わぬ「休み」ができてしまい、少しだけヤキモキしているそう。「休みがほしいと思うことがあったんですが、月々にちゃんと収入がないと不安になりますし…。なんだか常に畑に行かないと、逆に気が休まらなくなりましたね」と、休みなく、農業にのめり込んでいます。

## 5年後の“プロ”をめざして

5年後の目標は、ズバリ「プロに近付いていること」。「土地に合った作業や“理屈”が分かって作業ができて、同じ品質のものを安定的に作る技術を持つ人(がプロ)でしょうか…」とプロを定義し、「失敗を恐れないこと」「やったことは明日も、一年後も、“忘れない”で次に生かす」ことを大切にしながら、「真っ直ぐ」農業に向き合っています。「幼い頃からここで見てきて、急勾配でシカも出るし、山を背負っているなか、農業で食べていくのは難しいかって思っていたこともあります。でも、野菜を取り入れたりして、工夫次第でできる、もっとできるんじゃないかって思っていて…農業が好きなんだなって思ってますので…まだまだですけど…どうにか歯を食いしばっていきたいです」と照れ笑いする竹内さん。日に日に色づくトマトに本格的な夏作業の訪れを感じながら、今日も真っ直ぐ作業に取り組んでいます。

### プロフィール

名前	……竹内康彦さん
年齢	……40歳
営農地域	……篠ノ井有旅・信更町赤田
栽培品目 (経営規模)	……シイタケ、野菜(トマト・ピーマン・アスパラ・ナスほか)
農業者	……本人、父
出荷先	……A・コープ3店舗直売所、JA共選所、地元直売所等

## 農産物 本格出荷へ

梅雨入りを迎えた6月。JAでは、果実・野菜・花の主力品目が出荷の最盛期を迎えました。

### 「あんず」期待寄せる

新興果樹部会杏梅桜桃専門部は、松代農業総合センターで6月19日、「あんず」の生産者大会を開きました。今年は春先の低温により、一部品種で着果量に影響がありました。玉肥大は順調で、市場から期待が寄せられています。大会では、集荷された果実を見本に、熟期を見極めた収穫を営農技術員が指導。最後に出席者全員で「頑張ろう」と三唱し、出荷量と生産面積の拡大へ意思統一をはかりました。



生産者ら60人が出席した大会

### 「トマト」色に注意を

野菜部会施設果菜専門部は、松代町の道島集荷所で6月3日、「トマト」の目揃い会を開きました。生産者や市場担当者ら20人が出席。営農技術員が、市場到着時の着色具合を意識し、「色」を見極めて収穫するよう指導しました。



市場出荷に合う「色」を確認する生産者

今年、加温栽培物の出荷が4月28日に開始。無加温物へリレーし、最盛期を迎えています。出荷先を地元市場一本に絞り、鮮度を維持した出荷で販売拡大につなげる方針です。

### 「タマネギ」販売適期に出荷を

野菜部会タマネギ専門部は、松代町2会場で6月10日、「タマネギ」の目揃い会と販売促進会議を開きました。17日から集荷し、7月にかけてピークを迎えます。主力産地の競合により市場内で野菜全般の価格が乱調傾向ですが、市場と密に情報を交換し、適時出荷による価格維持と安定販売につなげていきます。

目揃い会には生産者ら10人が出席し、規格の遵守と荷造りの徹底を確認。販売促進会議では、改めて市場に高値販売を要請しました。



出荷規格に沿う大きさを確認(牧島会場)

### 「トルコギキョウ」目利意識を

花き部会トルコギキョウ専門部は、篠ノ井の東部青果物流通センターで6月14日、「トルコギキョウ」の目揃い会を開きました。生産者12人が出席。今年度から「二日前販売」に取り組み、今まで以上に有利販売をめざすことなどを営農技術員が指導しました。



見本を示し、選別の留意点を指導

島田武専門部長は「産地の名や品質を落とすことのないよう、一人ひとりが気を付けよう」と呼びかけました。

## 連携して果実35億円必達を

果樹4部会から成る果実専門委員会は6月6日、篠ノ井のグリーンパレスで果実販売推進大会を開きました。生産者ら60人が出席。JA全農長野、重点取引市場14社を招き、産地と市場の意見交換による連携販売と、これによる果実販売高35億円の必達を確認しました。小山英壽委員長は、「グリーン長野果実のファンを全国に広げるため、生産者の努力・協力により一段の品質・集荷量向上をはかろう」と呼びかけました。



市場との連携販売へ意思統一をはかる会場

## 東京主力市場に売り込み



花きを売り込む部会役員

花き部会の役員5人は6月7日、東京の大田花き市場を訪問し、市場関係者と販売対策会議を開きました。大田花きは東京都最大の花き市場で、重点取引先の一つ。会議では、市場から「二日前集荷による情報発信」「グリーン長野らしい安定品質の花」の出荷を要請され、生産者は出荷規格と市場需要に沿った品質の出荷を約束しました。また、あわせて青山フラワーマーケットを訪問し、「トルコギキョウ」「ユーカリ」などJA産の花きをPRしました。

## りんごの付加価値販売めざす

りんご部会では、付加価値販売による手取りの確保・増大をめざし、ふじに袋をかけ続けてクリーム色に仕上げる「ムーンふじ」や、加工用として作る「カットリンゴ（集取らずりんご）」の栽培に取り組んでいます。6月中、各取引組みに向けた講習会を開き、栽培者を募りました。

このうち、「カットリンゴ」の講習会を18・19日に4会場で開催し、営農技術員が取り組み上の注意点について説明し、生産振興を呼びかけました。



「カットリンゴ」の利点を説明（真鳥会場）

## ナチュラル系ブームにのせて



苗を運び出す営農技術員と生産者

花き部会では、「ユーカリ」を生産振興しています。永年性の作物で、農薬散布が少なく、費用や作業負担も軽減。部会では「ナチュラル系」として需要が高まっている苗目です。

定植時期を迎え、篠ノ井の育苗センターで6月6日、新規導入者10戸を含む30戸に苗を配布しました。「グリーン農業講座」の受講をきっかけに栽培に挑戦する男性は、「空いている農地を利用して来年の出荷をめざす」と意気込み、苗800本を受け取っていました。同部会花木専門部全体では68戸が栽培し、約25万本の出荷を見込みます。

## ドローン導入を検討

J Aが事務局を務める大岡地区中山間地農業活性化委員会は6月6日、「農業散布用ドローン（小型無人飛行機）」の実演会を初めて開きました。生産者の高齢化や農地の遊休化が進むなか、水稲栽培に機械を導入し、作業負担軽減と農地維持につなげようと計画。生産者ら25人が参加し、実用性を確認しました。ドローンを初めて見た参加者は、「あっといふ間の作業だ」と導入に期待を寄せていました。委員会では、共同所有も視野に、導入に向けて検討をすすめる考えです。



ドローンの飛行を見守る参加者

## 作業進捗を生産者と確認



「核割れ果」の見分け方を確認

果樹2部会（ももりんご）は、6月中旬にかけ、各部会・地区ごとに「ほ場巡回」を行いました。営農技術員と生産者が圃地を巡り、作業進捗、病害虫の状況等を点検し、指導するわらわら。他の生産者の圃地を見て、情報・技術交換につなげることも目的です。このうち、もも部会・井支部は6月10日から12日まで17会場に分けて巡回。袋かけを行いながら着果量を最終的に調整し、玉肥大につなげるよう指導しました。

## 感染防止へ調査を実施

J Aと長野農業改良普及センター、長野県果樹試験場は6月27日・28日、りんごの産地で近年問題となっている「リンゴ黒星病（DMI耐性菌）」のほ場調査を行いました。この病害は、これまで効果のあった薬剤が効かず、品質低下や収量の減少につながるもの。長野県内の他産地で感染が確認されていることから、当J A内でも調査を行い、感染防止に努めています。調査員は、78ほ場650カ所を回り黒星病と思われる被害葉・果を見つけると、摘み取り、検査機関へ送りました。結果は、部会報や本誌を通じ、改めて報告する予定です。



被害が疑われる果実を確認する調査員ら

## 愛される職員をめざして



ナスの管理作業に取り組む職員

今年度入組したJ A職員18人は、6月18日から26日までの2〜3日間ずつ、「農家実習」を行いました。職員は、受入先の生産者の指示のもと、果樹や野菜、水稲の管理作業を体験するとともに、生産者とコミュニケーションを深めました。松代町の豊栄野菜生産組合で実習した松代支所担当2人は、ナスの管理作業に挑戦。生産者の苦勞を肌で感じ、「組合員さんと交流を深めて、みなさんに愛されるような職員になりたい」と決意を述べました。

## 更府支所起工式を開催

J Aは、信更町の更府支所で6月12日、「支所起工式」を開きました。関係者15人が出席し、工事の安全を祈願しました。これは施設の老朽化に伴い、建て替えるもの。現支所敷地内に建設し、金融・営農・生活資材店舗機能を備えます。

起工式では、神農組合長が「グリーン長野は中山間地を大事にする農協として、今日の日を迎えることは喜ばしい事。地元のみなさんにはこの支所をますます可愛がっていただき、ご指導を頂きたい」とあいさつしました。敷地整備を含めた支所の完成は、来年3月を予定しています。



儀式を行う参列者(左から塚田建設委員相模役、駒村専務、村田理事)

## りんごモニュメントが完成



モニュメントの除幕をする列席者

J Aは、真島まちづくり委員会による「真島りんご導入140周年記念事業」に協力し、事業の一環として真島フルーツセンターに記念モニュメントを建立しました。完成を祝し、センターで6月19日、記念モニュメント除幕式を開催。委員会やJ A役員が列席し、真島地区をはじめ、J A管内の果樹栽培の発展を祈りました。神農組合長は、「発祥の地というこの産地を必ず残していけるよう、センターを拠点に地域を支えていきたい」と表明しました。

## 雨の中で田植え頑張ったよ

J Aと更級農業高校が連携して開く「親子ふれあい農業塾」は6月8日、N P O 法人風とみどりの会が管理する川中島町の水田で「田植え」を行いました。親子15組が参加し、高校生の指導のもと、もち米「モリモチ」の苗を手で植えました。あいにくの雨でしたが、参加者は、自然との戦いの苦労を肌で感じながら植えます。保護者は「田植えも、雨の作業もなかなか経験なので大変だったが、親子共々、楽しみながらできた」と話しました。



目印に沿って植えますめる参加者

## 健康増進に歩こう



ボールの使い方を講師に教えてもらう参加者

J Aは、篠ノ井の南長野運動公園で6月26日、今年度第1回目となる「組合員健康企画」を開きました。組合員ら32人が参加。(一社)全日本ノルディックウォーク連盟公認講師の南長野医療センター篠ノ井総合病院医師と岡エコープサブライ担当の2人を講師に、専用のボールを使って歩く「ノルディックウォーキング」に挑戦しました。参加者はボールの持ち方、準備体操、基本姿勢、歩き方を学び、実際に公園内を歩きました。次回の開催予定は14ページをご覧ください。

# 仲間でミカタ!! “営農相談員”



JAでは、地域の農業を元気に、生産者が持つ優れた技術を次世代につなぐために“営農相談員”とともに営農指導に取り組んでいます。

## はじめに～JAの根幹“営農指導”～

JAの営農指導部門は、JA事業の根幹を成す最も重要な事業を担っています。栽培知識・技術、経営指導など組合員の「営農支援」のための取り組みを行い、生産者・組合員の農業所得の向上、担い手の育成、地域の農業振興をめざしています。

このなかで、生産者の相談相手となり、指導を行っているのが「営農技術員」です。営農技術員は「JAと農家を結ぶパイプ役」という重要な役割を担い、ほ場指導や栽培講習会に日々取り組んでいます。



▲ほ場巡回の様子

## 仲間でミカタ!!～営農相談員制度～

JAでは、平成23年度から農業振興計画・事業方針のなかに「営農相談員制度」を導入しました。この制度は、栽培技術や経営に優れた模範的な果樹生産者を「営農相談員」に任命するもの。一生産者として、また、JA・生産者の“仲間”として、営農技術員と連携しながら講習会ほ場巡回(点検)、農業講座に参加し、生産者の“味方”となって生産者の相談に乗っています。自ら農業経営で生計を立てる経験者であるからこそ分かる知識や経営センスと、地域の核として活躍をしていること、さらにJA営農技術員とは別の視点でアドバイスをできるのが、営農相談員制度の強みです。営農相談員とJAとの連携で、より多くの生産者への指導や技術の伝承を強化し、産地としての技術・品質の向上につなげていく考えです。



▲委託状を受け取る宮崎さん

## 全地区設置・19名が活躍

JAでは中期計画・令和元年度計画で「営農相談員」の増員と全地区の設置による、技術指導・継承をめざしています。今年度の営農相談員制のスタートにあわせ、篠ノ井のグリーンパレスで6月26日、「営農相談員委嘱式」を開きました。今年度は篠ノ井4名、信更1名、松代2名、川中島2名、更北4名、若穂6名の全19名の生産者に相談員を委嘱。神農組合長は、「志を同じくする生産者のみなさんの力をぜひ発揮したい」と話し、相談員の協力を求めました。



▲JA役員と営農相談員のみなさん

◀NEXT PAGE▶ 営農相談員さんのご紹介&インタビューをお届けします!



# 農業地域・営農相談員について伺いました！ “仲間でミカタ”ヘインタビュー

## 竹内 保智

〈篠ノ井〉

営農相談員と言いますが、「営農技術員と生産者の橋渡し」という立場でやらせていただいています。

JAの指導方針がありますので、それに沿って作業をすすめていくこと、自分なりに情報を集めて試してみることも大切です。

農業は自分の努力次第で、やればやった方がいいものができ、それが喜びにつながると思っています。



連絡先：東信農業実践センター  
担当品目：もも・ぶどう

## 宮崎 秀一

〈篠ノ井〉

私は定年帰農して、果樹というよりはどちらかといえば直売野菜をメインにやっています。ですので、技術的な面は営農技術員さんにお任せして、定年帰農される方に向け、何をやらせたいか、何から始めたら良いかといった農業の「入口」部分のご相談や、収益をめざしていくのであればどんな組み合わせにするかなど、経営という部分でお話ができればと思います。お答えできることにしかお答えできませんが、お手伝いできればと思います。



連絡先：西信農業実践センター  
担当品目：りんご・直売野菜



## 宮崎 淳一

〈篠ノ井〉

相談員という荷が重い(苦笑)ですけど、「JAと農家のパイプ役」になれば良いかなって思っています。農家の困りごとをJAにつなげるのはもちろんですけど、部会の役員をやらせていただく中で、一農家ではなかなか分からない「販売」も知ることができたので、それを地区につなげ、農家としてどうやって販売に即したものを作るか、間に合わせるか、そんなことを伝えながら、できることは一生懸命やっていきたいです。

連絡先：西信農業実践センター  
担当品目：もも・りんご



## 島田 栄一

〈篠ノ井〉

生産部会で役員をやってから、営農相談員になったので、部会で話し取り組んできたことや、「産地」として、「販売」を視野に入れた栽培をしていくことが重要だということを伝えたり、相談員や各部会の役員さん、地域のみなさんを交えて、篠ノ井地区、産地として、どのように生産量や農業を維持していくかを考える機会を持つきっかけを作っていければ良いと思っています。

連絡先：東信農業実践センター  
担当品目：もも

## 栗林 良夫

〈篠ノ井〉

相談員になったばかりですので、何が出来るか「勉強」ですが…農家は天然に左右され、1年に1回の勝負なので、「我慢」もありますけど、自分でやったこと、苦労しただけの結果が出る「楽しい」ものだと思っています。

営農技術員と協力して省力化できる方法も試験し模索しているところですので、「楽しい」ことや「収入につながる」ことを、若手に伝えていきたいですね。



連絡先：東信農業実践センター  
担当品目：もも・ぶどう

## 寺島 司

〈川中島〉

農業は、まず自分でやってみて、生産する喜びを感じ、「楽しく」やるのが大切ですね。自分が始めた頃には「失敗」もありましたが、今思えば失敗することも必要だと感じています。読み物だけではなかなか実践できないので、講習会に出向いたり、地域の先輩の経験やいろいろな方の意見を聞き、参考にするなど、「経験に基づく情報を得る」ことが何より大切ですね。



連絡先：川中島共済所  
担当品目：もも



## 宮澤 君保

〈信更〉

私にとって、農業を通じて体を動かすことが、健康のためになっています。お客さんがおいしいと食べてくれることもやりがいです。定年が伸び、後継者不足が大きな課題となりますが、地区には、農業を守りたいという心強い若者も入ってきていますので、自分も地域や営農技術員の相談役となり、お客さんに喜んでもらえるりんごをつくりたいですね。

連絡先：信更農業実践センター  
担当品目：りんご



## 峯村 景文

〈川中島〉

まずは、「ももは儲かるよ」ということをお伝えしたいですね。

JAに良いものを出荷するなかで、どうしてもわけあり品が出てきます。それを直売所に出荷したり、地域の人やNPOと協力して販売したり…良いものをつくらうとすることは当然ですが、わけあり品をいかに売っていくまで考えることが生産者の勝負の一つでしょうか。もちろん大変なこともあります。苦勞の先に希望があります。一人ではなく、地域の人と仲間づくりをしながら“協同”で考えることも大切です。

連絡先：川中島共済所  
担当品目：もも

## 西澤 英則

〈更北〉

農業をやってみて、例えば人に農産物をあげたら喜ばれたとか、接ぎ木やってみたらうまくいったとか「目に見えた成功」があるとやる気にもなりますし、そんな手伝いを我々がやっていければ良いと思っています。

我々は近所で一緒に農業をやっている人間なので、「こんなこと聞いたら恥ずかしい」などと思わず、気兼ねなく気軽に聞いてください。



連絡先: 真島フルーツセンター  
担当商品: もも・りんご・なし

## 神戸 直日

〈松代〉

色々な人から情報・意見を聞くことは大切ですが、見習う人(技術)を一人に絞ることも大切です。

着実に技術を蓄積するか、お金儲けに走るか、どちらを選ぶかはその人次第ではありませんが、技術を蓄積する人は、必ずいいものをつくり、それが最終的にお金にもつながります。若い方は新しい事にも挑戦していただきたいと思います。



連絡先: 松代農業総合センター  
担当商品: ふどう



連絡先: 真島フルーツセンター  
担当商品: もも・りんご・なし

## 小山 英壽

〈更北〉

果樹栽培の場合、栽培期間が1年と長いので、まず何より「基本技術」が大事です。この基本技術を営農技術員と我々相談員、生産者みなさま方と共有していきたいです。相談員の我々もまずは「勉強」と、一緒になってやっていこうと思っています。

農業は「夢」があり魅力いっぱいの職業です。若い方の就業体験にも取り組み、一緒に汗をかき、チカラになります。



連絡先: 松代農業総合センター  
担当商品: ぶどう

## 相澤 敏正

〈松代〉

品質向上をはかることが重要であり、そのためには講習会・研修会に必ず出るようにと呼びかけています。

私は若い時には農業が好きではありませんでしたが、定年になって農業を始めてみて、自分で工夫しながらやり、良いものができたことは、「喜び」であり、それが農業の「魅力」であると、「奥深さ」を感じ、のめり込んでいます。欲張り過ぎず、堅実に一つ一つこなしていくことが大切です。

## 小林 芳春

〈更北〉

農業は自然相手、工業製品と違って思う通りにいかないこともあると思いますが、やっていて楽しい事も多くあります。「基本」を大切に、指導された通りにやっていると、かなりの確率で良いものができます。若い人も定年で入られた方も、農業塾などで気軽に相談できる雰囲気づくりを、自分の経験も兼ねてしていきたいと思っています。



連絡先: 真島フルーツセンター  
担当商品: ふどう

## 北村 文治

〈更北〉

地域の生産量がどんどん減っているなかですが、ありさまの栽培方法ではなく、栽培方法を(隣接各樹高へ)変えたり、農業塾等から学んだことを実行していただくことで、みなさんや全体の生産量が上がると思うんです。

私もお客様に喜んで頂けるようなものを一緒に出荷していきたいですね。



連絡先: 真島フルーツセンター  
担当商品: もも



連絡先: 若穂果実流通センター  
担当商品: りんご・ぶどう

## 千原 良治

〈若穂〉

農業は「幾つになっても勉強」です。毎年やっても天候に左右され、年によって作業も変わり、ただ働いただけじゃ見よう見まねでは、「稼ぐ」ことは難しい...いろいろな話を聞いて、基本をつかむことが必要です。分からないことは分からないままにせず、なんでも「聞いて」いただくこと、ぜひ「講習会に出て」いただき、情報をつかむことが大切です。



連絡先: 若穂果実流通センター  
担当商品: もも

## 北城 義人

〈若穂〉

定年を迎えて農業に入られる方も若手の方も、ももは「低樹高」の樹づくりをオススメしています。実際に私もやっているなかで「とても楽」なんです。品質も良く仕上がります。「農業は辛いものだ」と思う方もいらっしゃると思いますが、キツイこともあるかもしれませんが、収穫の楽しさがあり、誰にも束縛されるものでも無く、「とても良い仕事」です。

## 峯村 尚義 (若穂)

当初は、栽培技術のご相談をお受けすることが多かったのですが、今は、この面積を後世へつなぐことができるのか、若い人へとつなぐまではどうすれば良いかなどの相談も増えてきています。このようななかで、できるだけ若手や新たに農業をされる方とつながりを持ち、次へと継承し、農地が遊休化することのないようにしていきたいと思っています。



連絡先:若穂果実流通センター  
担当商品:ぶどう・りんご

## 金井 豊 (若穂)

先代の方々が守ってきた産地ですから、農業を次につなげることでできる種業・産業としていけるようしっかりと稼げる経営をめざしています。

意欲のある若手が入ってきていますので、今までとは別の考えや新しいアイデアをどんどんと出しながら農業に挑戦していただき、「農業は良い」とPRして仲間を増やしていけるような方向性を持っていければ良いと思っています。



連絡先:若穂果実流通センター  
担当商品:りんご

JA果樹営農技術員も  
全力でみなさんの農業を  
サポートします!

## 安藤 信孝 (若穂)

若穂地区で農家さんと「農家をお手伝いする方」のマッチングができるような組織の設立・運営をめざしています。農業を続けていくためには、大変なかでも「楽しさ」があれば続いていくと思います。専業の方はもちろん、兼業の方も大切に、みなさんと手を携えながら、農業の関口を広げていけるように、何かお手伝いができれば良いと考えています。



連絡先:若穂果実流通センター  
担当:経営相談



▲果樹担当の営農技術員

## こんな機会にぜひ聞いてください!

### 講習会の合間に



営農相談員も生産者の立場で講習会に参加しています。講習会時に疑問に思ったことは持ち帰らず、その場でJA営農技術員や営農相談員に質問してください。

また、営農相談員は生産部会や青壮年部にも所属しておりますので、会議中や合間の時間など、ぜひご相談ください。

### 独自講習会



各流通センター・共選所では「果樹セミナー」を開いていますが、このうち、更北地区では、営農相談員が塾長を務める「更北農業塾」を開いています。定年帰農や就農をめざす人向けに、日曜日開催し、りんご・ももを中心に、なし、ぶどうまで指導しています。

### ほ場巡回



ほ場巡回の際に営農相談員も営農技術員と同行し、また、営農相談員独自でも巡回を行い、生育状況や作業進度を確認し、生産者と、また営農相談員同士で情報を共有しながら、指導や呼びかけを行っています。

果樹栽培に関する疑問はぜひお気軽にご相談ください。

### JA 営農技術員・営農相談員へのお問い合わせ

- 西部青果物流通センター TEL 293-4668
- 信更果実流通センター TEL 299-2617
- 川中島共選所 TEL 284-4475
- 若穂果実流通センター TEL 282-2002

### 各流通センター・共選所

- 東部青果物流通センター TEL 292-0082
- 松代農業総合センター TEL 278-9595
- 真島フルーツセンター TEL 285-3240
- 営農部 TEL 292-0930



女性部

### 初の料理講師 郷土料理伝える

女性部更北総支部は6月4日、真島小学校「真島ふるさとクラブ」の「講師」を務めました。学校の依頼のもと、同総支部としては初の活動。年4回に渡り、部員が毎回交代で講師を務め、地域の児童と交流を深めながら、食の伝承や女性部活動のPR・活性化につなげます。

初回は、部員3人が「ニラせんべい」の作り方を児童15人に指導。調理器具の使い方やニラの切り方、焼き方など、料理の楽しさも含めて伝えました。完成後、試食をしながら作業を振り返った児童は、「家でもう一回作りたい」と笑顔。女性部員は「講師を務めるのには不安もあったけれど、子どもたちと交流ができ良かった」と安堵の表情を見せていました。



児童と会話を楽しみながら料理指導

### “もも”“ユーカリ”共同栽培で実践的に学ぶ

青壮年部



青壮年部川中島支部は、支部員のほ場で、もも「川中島白桃」「川中島白鳳」の「共同栽培」に取り組んでいます。川中島発祥品種の維持、次世代への伝承、経験や情報共有を通じた若手の技術向上が目的です。今年の3月に苗木20本を定植し、定植から幼木の管理作業などを研修し、技術習得に励んでいます。

このなか、ほ場の空きスペースに5月31日、「ユーカリ」を定植しました。農地の有効利用、複合栽培による収入源の確保、花き栽培未経験の若手へ栽培を広めることが目的です。作業には7人が参加し、営農技術員の指導で、苗木160本を植えました。内村善則支部長は、ユーカリの栽培について「個人でも取り入れる参考になれば良い」と話しました。



ユーカリ苗の定植位置を確認

### “農業”“水”の大切さを伝える

青壮年部



青壮年部塩崎支部は、篠ノ井の田で6月20日、塩崎小学校5年生児童に「田植え」を指導しました。部員7人とJA職員が参加。苗の持ち方や植え方のポイントを説明し、児童とともに田に入って、「手植え」をする児童をサポートしました。

児童は、田に入って一列で並び、目印のロープに合わせて「風さやか」の苗を等間隔に定植。青壮年部員から苗を受け取りながら、作業をすすめました。児童からは「初めてやったけど、とても楽しい」「カレーをつくってこのお米と食べるので、いっぱい食べたい」と話しました。

青壮年部員は「米づくりや作物を育てるには“水”が大切。水の大切さも含めて、作物を育てる大変さや楽しさが伝われば良い」と話しました。



苗を植える位置を示す



### 手びねりでオリジナル作品づくり

女性部大岡支部は、大岡の日方生活センターで6月21日、「陶芸教室」を開きました。部員12人が参加。地元の陶芸家を講師に、茶わんや皿を、ろくろを使わない手びねりで作りました。陶芸初挑戦の部員は「なかなか思い通りの形にならなかったけれど楽しかった」と感想を寄せました。



講師の手ほどきを受ける女性部員



### 小学生児童をサポート

女性部川中島町緑支部は、川中島の田で6月11日、昭和小学校5年生に田植えを指導しました。部員5人が参加。児童とともに田に入り、児童に苗を渡し、植える位置を示すなどサポートしました。部員は「子どもたちがはしゃぐ様子に元気を貰える」と話していました。



宮農技術員と指導方法を打ち合わせ



### 気兼ねない講習を

女性部若穂総支部ぶどうクラブは、5月末から6月にかけて「ぶどう」の管理講習会を2回開きました。女性だけで講習会を開くことで「遠慮せず質問がしやすい」と好評。部員は宮農技術員の実演を見て、さまざまな質問を寄せながら、知識や技術習得に励んでいました。



宮農技術員の実演から学ぶ

## GreenConnect

グリーンコネクト協定先2JAからキラリと光る話題をお届けします！

グリーンコネクトではJA名に“グリーン”の付く近江・大阪・長野が協同運動を実践中です。

### 近江 平成に感謝を、令和に期待を“コメ”で 改元祝い真空パック米販売



改元を祝った真空パック米

グリーン近江農産物直売所「きてか〜な」では、改元を記念し2種類の真空パック米を期間限定で販売しました。商品は、店内で精米・真空パックしたもので、熨斗のデザインを施したパッケージに「感謝・平成」「祝・令和」の文字が入っています。品種は「みずかがみ」で、内容量は300g、税込み220円。店頭その他、インターネット（JAタウン）でも好評を得ました。

同直売所の姫野昭祐調査役は「思った以上の反響があり驚いている」と手ごたえを実感。同商品の母の日版も販売するなど、今後も年間を通して様々な場面で感謝を伝えられるアイテムとして展開していく考えです。

### 大阪 農業塾（担い手サポートスクール）でオカワカメの収穫作業を実地体験



オカワカメの収穫作業

グリーン大阪は6月25日、本店で「第3期」Aグリーン大阪農業塾（担い手サポートスクール）の第5回目の講義を開催しました。今回は、農業の基礎知識を学び、本店農地エリア（アグリゾーン）でオカワカメの栽培管理と収穫作業の実地体験をしました。

農業塾は、農産物直売所「フレッシュ・クラブ」や支店での朝市への出荷をめざす新規就農者・定年帰農者・農業後継予定者を対象に、野菜づくりの基礎を学習することが目的です。受講生からは、「オカワカメの生育の速さと力強さに驚いた。ぜひ、栽培して出荷してみたい」と感想を話していました。

## 心肺蘇生法について

講師 南長野医療センター篠ノ井総合病院 救急看護認定看護師



倒れた人を見つけた時、家族や周りにいる人がすぐに手当を行えば、救命の可能性が高くなります。今回は、「一次救命処置」の手順を学びましょう。



### ① 突然人が倒れたら(倒れていたら)“反応”を確認&助けを呼ぶ

- 行動**
- ①反応の確認 身の安全を確保し、軽く肩をたたきながら呼びかける。
  - ②応援要請 反応がなければ、大きな声で周囲に助けを求め、119番通報とAED(自動体外式除細動器)を手配する。



### ② 呼吸の確認 確認は10秒以内に!

- 行動**
- 呼吸の確認 胸と腹を見て呼吸を観察し、判断する。  
普通の呼吸をしていないと思ったら、迷わず胸骨圧迫開始。



### ③ 胸骨圧迫 強く!速く!絶え間なく!

- 行動**
- 胸骨圧迫 胸骨(胸の中央にある硬い骨)の下半分に両手をあて、強く押す。  
◎圧迫の強さは、胸が約5cm(小児は胸の厚さ3分の1)が沈むまでしっかり押す。  
◎圧迫の速さは、1分あたり100回から120回のテンポで行う。  
**倒れた人が動き出さずか、救急車が来るまで、強く・速く・絶え間なく続けること!**



人工呼吸はしなくていいの?

人工呼吸によって胸骨圧迫が中断されてしまうこと、胸骨圧迫のみの心肺蘇生でも大半の心停止例で人工呼吸も合わせて行う場合と同等以上の効果があることから、市民救助には、胸骨圧迫のみの心肺蘇生が奨励されています。

### ④ AED(自動体外式除細動器)を使う

- 使用法**
- ふたを開けると電源の入るものと、電源スイッチを入れるものがある。  
音声案内にしたがって使用すること。  
**電気ショックボタンを押す時には、自分や周りの人が感電しないよう離れること!**



電気ショック後、ただちに③の胸骨圧迫を再開すること!

救急隊が到着するか、倒れていた人が動き出すまで胸骨圧迫を続けること。

**まとめ** いざという時のために、ぜひ覚えましょう。大切な人の命を救うのは、「あなた」です。



#### グリーンカフェ 川中島

開催	毎週火曜日 AM10:00~12:00
場所	コミュニティプラザ川中島 (JA川中島支所)
7月16日	尿漏れケア(病院講話)
23日	みんなで楽しく動こう!
30日	うたカフェ♪
8月 6日	鑑賞りをマスターしよう

#### グリーンカフェ 若穂

開催日時	8月8日(木) 10:00~12:00
場所	若穂ふれあいセンター (JA若穂支所向かい)
内容	みんなで名曲を歌おう ※夏休み期間中により、ぜひお子さん、お孫さんと一緒に楽しんでください

両会場ともお申込み不要!参加費は100円です。

グリーンカフェに関するお問い合わせ  
生活部生活福祉課 tel.293-2061

参加しよう  
組合員  
健康企画

## 専門家に習ってみんなで続けよう!「ノルディックウォーキング」

JAでは「組合員健康企画 みんなでノルディックウォーキングに挑戦しよう」を企画しています。(一社)全日本ノルディック・ウォーク連盟講師の指導で、正しい歩き方や準備運動を学び、体力維持・向上、瘦身にも効果的なノルディックウォーキングを習得しましょう。

近場で、仲間と、「継続すること」が大切なポイントです。ぜひ、ご夫婦、お友達お誘い合わせの上、ご参加ください。

#### 第2回ノルディックウォーキング日程

開催日時:7月24日(水)15時~16時半  
会場:南長野運動公園(篠ノ井東福寺)  
受講料:200円(組合員以外の方300円)  
※ケガ等に備えた保険料等です  
定員:30名  
受付:右の申込先へお電話をお願いします。原則、当日参加はできません。ご応募いただいた方には、後日詳細をご案内いたします。

専用のノルディックボールは貸出可能!  
(レンタル料500円)



申込み:生活部生活福祉課  
tel.293-2061

代かきの済んだ田圃を夜廻りに蛙鳴き合うこだまに歩み  
待望の雨あちこちに注ぎ入る自然の恵みに感謝するのみ  
続けざまにピーポー鳴るを路傍でにはかも程ほどに捕獲やめ蛙に  
国産だゴルフに相撲と機嫌とりお手やわらかにすがる外交  
新緑見渡す限り山深くやさしくなくはうぐいすの声  
田圃終へ畦に憩える目交は栗の垂り花白く咲く見ゆ  
最近の異常気象に戸惑いて農作物に影響ありて  
卒六爺南天木で杖造る冥土が旅の無事を願いて

今年トマトジュース用のトマトを育てています。たくさん実が付き始めましたが、カルシウム不足で尻腐れ症が発生してしまいました。適正対策をしましたが、収穫まで心配です。野菜作りは本当に難しいと思います。(篠ノ井 ぶーさん)

●心配になるお気持ち、お察しします。回復して、無事に収穫ができますように祈っております。一筋縄ではいかないのが農業ですが、「奥深くて楽しい」とのお声も寄せられます。「田圃も楽しむ」気持ちで、いかがでしょうか…。

カラカラ天気暑い日が続く、野菜たちも元気がなかったのが、梅雨に入り、やっと生き生きとしてきました。やはり人も野菜も水がなくてはなりません。(篠ノ井 田中さん)

●水不足も懸念され、梅雨の雨でひとまず安心でしょうか…常にあるものと無難にしがちですが、大切な資源として、節水を心がけていきたいと思うこの頃です。

ノルディックウォーキングという文字が目に入り飛び込んで、思わず受けた講習を思い起こしました。機会を見つけて実行したいです(松代 YUKOさん)

●組合員健康企画でも月1回開催をしてみたいです。ぜひこの機会も活用いただきながら、健康維持・増進を一層にめざしていきましょう。

ぶどうやトマトを出荷している方々はホルモン剤を使用していると聞きましたが、健康には影響ないのでしょうか。子どもに与えるとき、心配なのですが…(松代 中島さん)

●ホルモン剤や農薬は適正に使用されている限り、安全で、健康被害もないとされています。JAでは、出荷者に対し適正使用を求めているとともに、出荷に際し、適正使用を記録した「栽培記録」の提出を求め、安全性を確認し、販売につなげています。JAと生産者が連携し、安全安心に配慮した生産者の出荷に努めておりますので、消費者みなさまのご理解をお願いいたします。

昨年定年になった主人が、祖父母のやっていた畑を守るべく、農業をはじめました。今年は青梗菜をハウス作り、JAに出荷しました。今後ともよろしくお願いたします。(川中島 秋山さん)

●ご出荷ありがとうございます。出荷し、売れたことが、意欲となりそうですよ…。ぜひこれからも大切な畑を守っていただけますよう、お願いいたします。

西寺尾 長藤 保  
上布施 穂苅 勲子  
小島田 松井 信子  
塩崎 飯島 教史  
大岡 久保田けさみ  
小島田 清水 威子  
小島田 斎藤 由明  
下平 番場 道仁

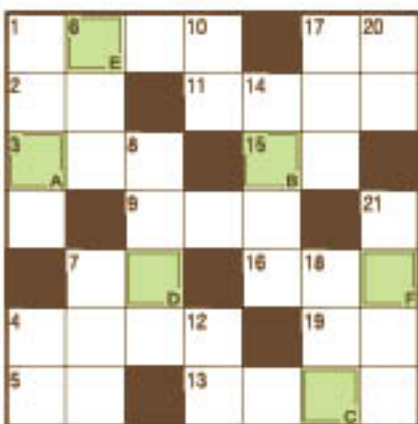
白羽の矢避けようとして下を向く  
食習慣文化をのせて変わりゆく  
早春はうぐいすよりも口笛の勝  
蚊帳の中温んで見上げた蓮花火  
團圓に保母と待つ子や大西日  
損しても得を目指して今日も生き  
辛せになると祈りが雑になる  
新涼や肌さらりと化粧水  
したり顔見たくて裏める一歳児

今井 高橋 清人  
川中島 中島 捷治  
松代 中澤 修  
篠ノ井 関 博英  
青木島 塚田 敏明  
唐白 五十嵐立男  
内堀 内山 克子  
大岡 久保田立祐  
原 小林 仲江

●投稿者の個人情報は適正に管理し、JAだよりの文芸掲載に利用させていただきます。  
●作品はご本名にて掲載いたします。必ずご本名にてご投稿ください。  
●地先 〒389-8511 長野市篠ノ井市飽高田961-2 JAグリーン長野 ぶんげいらん係  
●応募締切:7月19日(金)

脳カアップ クロワード

クロワードの正解の中から8抽選で5名の方にJAまごころ感謝状をプレゼント!



ヨコのカギ

- ①七夕に産屋と会います
- ②オフの反対語
- ③スズでめっきした鉄板。一斗缶やバケツなどに用いられます
- ④手紙のやりとりで交流すること
- ⑤ナイアガラ川にあるものが有名
- ⑥時計を掛けたり輪を飾ったり
- ⑦京都市で行われる枝原祭は○○○神社の祭礼です
- ⑧高倉健主演の映画「○○○○の黄色いハンカチ」
- ⑨百貨店ともいいます
- ⑩○○は友を呼ぶ
- ⑪何人かでパトンをつなぐ競走
- ⑫息を吸うと膨らむ織物
- ⑬観光、夜行、2階建てといえ

タテのカギ

- ①大丈夫だから、○○○○に乗ったつもりで待ってね
- ②プープーと鳴きます
- ③高校の公民の教科の一つ
- ④新鮮な空気を取り込んで汚れた空気を追い出すこと
- ⑤お好み焼きにたくさん入れる葉野菜
- ⑥彼とは同じ差の○○を食った仲だ
- ⑦肩と手首の間
- ⑧酸と混ぜると中和反応が起きます
- ⑨米国の50番目の州。南の島です
- ⑩焼き肉店のメニューで肝臓のこと
- ⑪由緒ある神宮や夫婦岩で知られる三重県の市
- ⑫一番良い物はベスト、一番悪い物は

※レイアウトの都合上、回答欄が小さく、ご不便をおかけしております。何とぞ御容赦いただけますようお願い申し上げます。

応募ハガキの記入方法

※応募に際して記入いただいた個人情報は、本誌編集および当選品発送以外には使用しません。●応募締切:7月31日(水)

389-8511  
長野市篠ノ井市飽高田  
JAグリーン長野  
クロワード係  
060102  
宛

62

①クイズの答え  
②氏名(ペンネーム)  
〒住所  
年齢  
性別  
電話番号  
③JA・店舗名へのご意見・感想  
日頃の感想なども、ご自由に  
ご記入ください!  
(※たよりコーナーに掲載されて  
いただく場合があります)

5月号の当選者(応募総数47通・当選通知6月20日発送)  
○長澤守雄さん ○海沼容子さん ○西山治江さん ○吉村志津江さん ○塚田悦子さん

## やさい塾 今月のオススメ

# ハクサイ

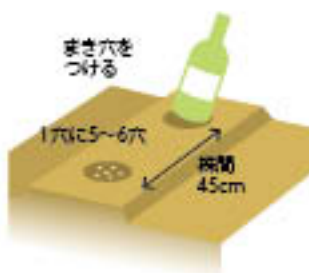


オススメ 品種	耐病六十日、 黄ごころ、大福、 オレンジクイン	種まき	8月中旬 ~下旬	収穫	10月 (種まき後60日程度が目安)	目標収量	700kg /1アール
------------	-------------------------------	-----	-------------	----	-----------------------	------	----------------

### 1 種まき

#### 直まきの場合

空き瓶の底などを使用し、1穴に5~6粒まく。間引きは、発芽後に子葉が重ならないように行い、本葉3~4枚のときに3~4本、本葉7~8枚の頃、1本立てにする。



#### セルトレイを使用する場合

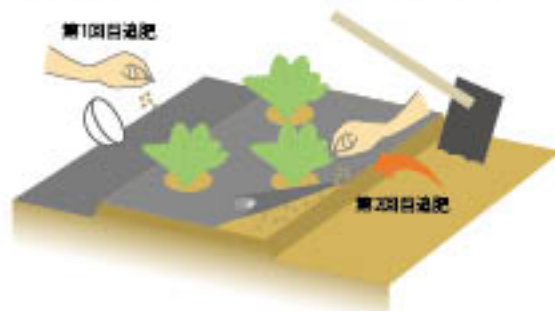
指先で浅くぼみを作り、1穴に3粒まく。間引きは、発芽が揃った頃に2本、本葉2枚のときに1本にする。苗は、本葉4~5枚で植え付ける。根鉢が崩れないよう、前日に十分な水やりを行う。植え穴は大きめにあけ、根鉢が見える程度に植え付ける。葉の付け根が土に埋もれないように注意する。



### 2 追肥・土寄せ

1回目の追肥は、直まきの場合、最後の間引き後に行う。セルトレイの場合は植え付けの半月後に行う。追肥はJAファームやさいの追肥で、1株あたり約15~20g株元にまく。肥料を与えた後は覆土し、土寄せを行う。

2回目の追肥は、結球し始める前、1回目と同量を通路にまき、土寄せを行う。



### 農カUPポイント

晩秋以降に収穫する場合は、外葉をしぼっておくと、防寒となり、傷みにくくなり、遅くまで収穫せず畑に置いておくことができます。



### 農業機械センター 土・日・祝日の営業日程について

農業機械センターの土・日・祝日の営業日程をお知らせします。

なお、8月13日から16日は夏季休業となります。

△…午前営業 (AM8:30~12:00)

斜線…休業

農機センター (Tel)	7月							8月				
	13	14	15	20	21	27	28	3	4	10	11	12
	土	日	月	土	日	土	日	土	日	土	日	月
篠ノ井 (Tel. 292-1369)					△							△
川中島 (Tel. 284-1671)						△						△
松代 (Tel. 278-8601)	△						△					
更北 (Tel. 283-5043)		△						△				
若穂 (Tel. 282-6025)			△						△			
信田 (Tel. 299-2225)				△						△		

お問い合わせ 各農業機械センター



# ぶどう塾

今月号は、ぶどう(シャインマスカット)の樹の管理と袋かけについてお届けします。



## 1 摘心 摘心の主な目的は次の3つです。

**遅伸び防止** : 養分の浪費を防ぐため、一定の葉数が確保された満開50日後以後に、新梢の生育を停止させるために行う。これ以降の遅伸びは品質低下・耐寒性の低下、病害発生の原因となる。

**樹形の明確化確保** : シャインマスカットは黄化防止のため、房付近の副梢を長めにしておいても良い。

**樹勢調整** : 幼木について、競合する新梢で放置すると負け枝になる。

競合する新梢を摘心し勢いを弱める。幼木においては重要な作業となる。

### ◆方法

- ①遅伸び防止に向け、7月下旬から8月上旬に伸びた枝を対象に、1新梢25葉程度を目安に摘心する。若木や寒害発生樹で伸長が旺盛なものは、8月中旬頃に摘心し、その後の伸長が著しい時には摘心を繰り返す。
- ②樹形の明るさを確保するため、樹が暗くなり出した8月頃、25葉を目安に随時行う。これによって明るさが保てない場合は新梢の切除する。

## 2 副梢管理

各節から伸びた副梢の葉は、1~2枚(節)残して切除する。副梢から発生した二次副梢は基部から切除する。



## 3 袋かけ・傘かけ 袋かけの目的は次の4つです。

**病害虫防除** : 晚腐病をはじめとする雨媒伝染病害の軽減、およびハチ、ヤガの被害防止効果が高い。防虫袋を利用することによりスリップス類の被害が軽減できる。ただし、効果の面で1年で使い切ること。

**外観保持** : 薬剤散布による果面汚染や、果粉(ブルーム)の溶脱を防止できる。

**裂果防止** : 果面からの吸水を防ぐことにより、裂果を軽減できる。

**日焼け防止** : 日焼けしやすい道側や枝の少ない若木の場合、また毎年日焼け被害のある場所は、遮光率の高い傘かけを併用すると日焼けを軽減できる。

### ◆袋の種類(選び方)

一般的には白色のブドウ専用袋を使用する。房の大きさに応じて袋の大きさを変える。また、「シャインマスカット」では、緑色に着色した果実袋を用いることで、果皮色の極端な黄化を抑制することができる。

### ◆袋かけの時期

果面保護、病害虫防除のため、摘粒作業が終わり次第できるだけ早めにかける。

被袋後、外気温が急激に高くなる(雨の後など、特に温度差が大きい)と袋内の果実の温度も上昇し、日焼けをすることがある。日中30℃以上の高温が継続時期の袋かけは避ける。(特に道沿いの西日が当たる未成木園)

摘粒作業を早めに終わらせ、梅雨明け前の7月上中旬に袋をかけ、温度に対しての「ならし」をさせておくか、果粒軟化期を行うこと。

### ◆袋かけの注意点

- ・果粉(ブルーム)の着生を良くするため、早めに行う。
- ・スリップは袋の中に侵入するので口元を止め金でしっかり固定する。また、ロート状に開いていると雨水が入る。
- ・良好な房から袋かけを行い、予定の枚数が終了したら残りの房を摘房し、着房過多にならないようにする。
- ・房の長いものは粒数が多いので、袋かけの時に再調整する。

## 第23回 JA農機&資材フェスタ2019 ~令和元年~JAは農業のベストパートナー

JAグループは、年に一度のビッグイベント「JA農機&資材フェスタ2019」を開催します。

最先端技術を搭載した最新鋭の農業機械をはじめ、出展メーカー30社以上が農業機械を展示。施肥・防除等に関するさまざまなご相談に対応する生産資材コーナーやご来場者限定のお楽しみ企画も満載です。ぜひご家族、お仲間お誘い合わせてご来場ください!

入場料無料

エムウェーブ  
(長野市オリンピック記念アリーナ)



日 時:7月19日(金)9:00~16:00  
20日(土)9:00~15:00

会 場:エムウェーブ(長野市オリンピック記念アリーナ)

お問い合わせ 各農業機械センター



## 流通センター・共選所 短期・長期アルバイト募集

各流通センター・共選所では、もも・りんごなどの選果・荷造りに携わる一般アルバイトを募集しています。  
高校生・大学生・専門学校生も大歓迎!簡単な作業が多く、未経験の方でもすぐに働けます。  
6月より募集を開始しております。ご希望の方は、お電話、または直接ご希望先へおかけください。

仕事内容:もも・りんご等の選果・荷造り業務

資格:一般・学生(高校生以上)

勤務地:1~6参照

勤務時間:8:00~17:00

(休憩1時間/実労働8時間)

給与:時給

【高校生】850円

【大学生】1,050円

【一般】830円~870円

休日:週1回

※ほか、休日のご相談も受け付けます

※土・日・祝日勤務可能な方歓迎

応募方法:勤務を希望する1~6の勤務地にご応募ください

	勤務地名	勤務期間	住所	電話	担当
1	西部青果物 流通センター	7月初旬~ 翌年1月	篠ノ井石川 428	293-4668	佐藤
2	東部青果物 流通センター	7月中旬~ 9月上旬	篠ノ井 東福寺1940	292-0082	水澤
3	川中島共選所	7月中旬~ 9月上旬	川中島町 御厨895-3	284-4475	高橋
4	真島フルーツ センター	7月中旬~ 12月	真島町真島 1451-1	285-3240	吉澤
5	若穂果実 流通センター	7月上旬~ 12月	若穂川田宇 須田町240-1	282-2002	松澤
6	信更果実 流通センター	8月上旬~ 翌年1月	信更町赤田 681-1	299-2617	大矢

※いずれも応募の受付時間は9:00~16:00となります。

お問い合わせ・申込み 各青果物流通センター・共選所

## AC長野パルセイロ冠試合開催

AC長野パルセイロのスポンサーを務める当JAは、7月14日(日)に開かれる「AC長野パルセイロ対ガイナレ鳥取」の冠スポンサーを務めます。先着500名様に「ネクタリン」をプレゼント!また、「農産物」が当たる抽選会やJA農産物販売ブースも出店します。  
JAと一緒にAC長野パルセイロを応援しましょう!



2019明治安田生命J3リーグ第16節

AC長野パルセイロv.s.ガイナレ鳥取

日時:7月14日(日) 17:00キックオフ

会場:南長野運動公園長野Uスタジアム

お問い合わせ 総合企画部 tel.293-2000

## オリジナル頒布会でJAの農産物を楽しもう

当JAのおいしい農産物が毎月届くオリジナル頒布会を企画しました。  
くわしくは、本誌とお届けします「オリジナル頒布会カタログ」をご覧ください。



お届け内容:もも、りんご、米、野菜など(選択)

お届け期間:8~12月(月1回)の5回コース

または12月のみ一括まとめコース

価格(税込):3,480円の5回払い

申込み先:各支所窓口

申込締切:7月31日(水)

お問い合わせ 生産販売部 tel.292-2383

くらしのセンター tel.293-1849

## 女性が輝く!JA女性カレッジ受講生 大募集

女性の方必見!JAでは地域にお住まいの女性のみならずま向けに「令和元年度JA女性カレッジ」を開講します。「女性なら誰かがやってみよう♡」をテーマに、さまざまな講座を月に1回開きます。

子育てママからセカンドライフを楽しむ方まで、年齢制限はありません。ご参加をお待ちしています。

対象:JA管内にお住まいの女性(年齢制限なし)

※入会には条件があります

詳しくはお問い合わせください

活動日:月1回(原則第3水曜日・AM10:00~12:00)

内容:受講生アンケートで決定

入会・年会費:無料

※内容により費用が発生する場合あり

初回:9月18日(水)・グリーンパレス

応募締切:7月26日(金)

お問い合わせ 生活部生活福祉課 tel.293-2061

## 毎日のくらしをイキイキ“家の光”購読受付中

いま読みたい記事満載の“家の光”を購読しませんか?毎日のくらしをイキイキさせる情報満載です!ただいま、「年間購読」を受付中です。年間購読は1冊分(617円)をお値引きし、お得です!

ぜひ年間通じて「家の光」を楽しみませんか?

年間購読(9月~翌8月) 価格:8,623円(税込)

年間購読受付期限:7月中旬



申込み・お問い合わせ

お近くの支所 生活部生活福祉課 tel.293-2061



前代表理事専務  
塚田今朝幸

初夏の候、組合員の皆様方益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

過日五月二十九日開催の第二十六回通常総代会をもちまして代表理事専務を退任いたしました。任期中は組合員、役員の方の支えにより、その職責を何とか果たすことができました。誠にありがとうございました。昭和四十三年に職員として入組以来半世紀余りにわたり協同運動に携わって参りました。農業を取り巻く情勢は相変わらず厳しいものがあります。特に農業後継者不足は今後益々深刻になってくると思われまます。この現状のなか、今こそ協同の力が真に必要なときだと考えます。JAグリーン長野は組合員のまとまりも良く小農を大切にするパランスのとれたJAです。今後とも一組合員としてJAグリーン長野の発展に協力していく所存であります。最後に組合員の皆様方のご多幸をご祈念し、甚だまとまりませんが、退任のごあいさつとさせていただきます。ありがとうございます。



前生産経済担当専務  
滝澤勝己

初夏の候、組合員の皆様におかれましては、ご家族共々ご健勝にてお過ごしのことと存じます。

このたび第二十六回通常総代会をもちまして任期満了となり退任いたしました。在任中の二期六年間は組合員の皆様をはじめ、役員の方の協力と関連機関のご指導をいただきながら職務にまい進して参りました。皆様方のこれまでのご厚情に心より感謝申し上げます。

これからは、皆様からいただきました数々のご教示を心の糧に自宅での農業に専念してまいります。

農業政策や社会情勢が大きく変化するなかであります。農業所得の増大と地域社会への貢献を基本方針として、組合員との絆を大切に、組合員の拠り所となるJA、そして地域に根差した「無くてはならないJA」でありまますよう、ご期待申し上げます。

最後になりますが、組合員皆様の益々のご健勝と更なるご活躍をご祈念申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。六年間、誠にありがとうございます。



前常勤監事  
曾根原正

平成二十五年五月から二期六年間にわたり、常勤監事を務めさせて頂きました。

この間、多くの皆様から御厚情を賜りましたことに、深く感謝申し上げます。

この六年間、私達は、従来の常識を越えに超えた世界規模での政治や社会の激しい変化に脅かされてきました。更に「農協改革」と称する政府主導の規制強化にも苦悶してきました。そうしたなかであって、当JAは、青年部を核とする生産意欲の高い担い手と強く連携して農業振興に取り組み、一方で、企画性豊かなイベント等を通じて心ある准組合員・消費者との仲間づくりに励み、経済合理性のみに偏重にすることのない、健全で、地域性豊かなJA経営を継続させていることは、他に誇るべき価値の高いものです。地区外から通勤していた私は、農産物の豊富さに驚き、その美味しさをタッパリと堪能し、グリーン長野ブランド鼻祖になりました。今後は、「真実の日本—JA」の実現を心持ちにして、後半人生を歩みたいと思っております。

JAの動き

理事会

- 6月25日に理事会を開き、次の事項を協議しました。
- (1) 理事の職位の決定について
  - (2) 役員報酬の決定について
  - (3) 役員退職慰労金の支給について
  - (4) 役員賠償責任保険の加入について
  - (5) ディスクローチャーの決定について
  - (6) 出資金の減額について
  - (7) 贈答物の改正について
  - (8) 利益相関係の事務委託契約の締結について
  - (9) 農産物発着について
  - (10) 国ジョイエイグリーンの役員変更および第1回半期決算の状況について
  - (11) 員外報酬について

監事会

- 6月21日に監事会を開き、次の事項を協議しました。
- (1) 平成30年度未結算財務モニタリング報告及び監事意見について
  - (2) 平成30年度未結算体制整備モニタリング報告及び監事意見について
  - (3) 令和元年度監事監査計画について

コンプライアンス(法令等遵守)への取り組み

- 管理職コンプライアンス研修会 6月4日・5日・7日
- (1) 令和元年度「JA長野県不祥事ゼロ運動行動計画」について
  - (2) 相談・苦情対応状況について
  - (3) 不祥事未然防止に向けた管理職の責任と役割について
  - (4) 社会的勢力に対する対応について
  - (5) DVD視聴
  - (6) 店舗セキュリティの重要性について
- 経営会議 6月17日
- (1) コンプライアンスの実施状況について
  - (2) 自主検査の実施状況について
  - (3) 管内合議の実施状況について
- 第4回リスク対応会議 6月24日
- (1) コンプライアンスの実施状況について
  - (2) 自主検査の実施状況について
  - (3) 管内合議の実施状況について
  - (4) 内部統制整備について

お詫びと訂正 本誌6月号5ページ「監事会」紹介にて誤りがございました。ここにお詫びし、訂正させていただきます。【誤】伊藤 幸一 【正】伊藤 幸一

## フライパンでヘルシーグラタン



### 【材料】フライパン26cm1枚分

- ズッキーニ..... 2本
- タマネギ..... 大1コ
- シイタケ..... 2枚
- ニンジン..... 2分の1本
- ミニトマト(飾り用)..... 6個(半分に切る)
- A 生クリーム(ホイップクリームでも可)..... 200cc(1パック)
- 水..... 350cc
- ブイヨン..... 3コ
- 小麦粉..... 大さじ3
- ピザ用チーズ..... 100g
- サラダ油..... 大さじ1
- オリーブオイル..... 大さじ2
- 塩・こしょう ..... 少々

### 【作り方】

- 1 ズッキーニは半分を5ミリ幅の輪切りにし、残り半分はいちょう切りにする。タマネギはみじん切りに、シイタケは細かく切る。ニンジンは皮をむいていちょう切りにし、茹でて火を通す。
- 2 フライパンにサラダ油を熱し、輪切りにしたズッキーニを入れて両面焼き、焼き目がついたらフライパンから取り出す。フライパンにオリーブオイルを入れて中火で熱し、タマネギを入れ、オイルが回ったところで、シイタケ、いちょう切りのズッキーニを入れ、全体に火が通ったらニンジンを入れて炒め合わせる。
- 3 弱火にして②を入れ、煮立ったらブイヨンを加えて溶かし、塩・こしょうで調味する。小麦粉を3回に分けて入れて、とろみをつけ、ピザ用チーズをまんべんなくかけて火を止める。焼き目をつけたズッキーニとミニトマトを飾ってふたをし、余熱でチーズを溶かしてできあがり。



女性部  
松代総支部豊栄支部の  
みなさん



### 【お料理メモ】

- 🍴 野菜を使い、ヘルシーかつ簡単にできるグラタンです。よりチーズをこんがりさせたいときには、とろみをつけたところで、グラタン皿に盛り、チーズをかけてオーブントースターで焼くと良いでしょう。
- 🍴 水を入れる際、一度生クリームが入っていた紙パックに分量の水を入れてからフライパンに注ぐと、パックに残っていたクリームも無駄なく使うことができます。
- 🍴 小麦粉は「ダマ」になりやすいため、加えたらしっかりと混ぜましょう。
- 🍴 ブイヨンがない時には、シチューのルックで代用できます。ぶなしめじやウィンナー、ベーコンも合いますよ。